



◆今なぜ、BPプログラムなのか？

核家族化がすすみ、孤立して育児をしている親がたくさんいます。孤立は不安やストレスの最も大きな原因です。BPプログラムは、親同士をつなぐことをひとつの目的にしています。

子どもの健全な成長には、適切な環境と適切な親のかかわりが必要です。特に、0歳時期にしっかり“親子の絆”をつくるのが、子どもにとっても親にとっても非常に大切なことです。

現在の母親父親が育った時代は、少子化が進んだ時期です。そのため、乳幼児と接する機会がほとんどないまま、わが子が生まれてはじめて赤ちゃんを抱くという親が多くなっています。今の日本社会では、育ちのなかで自然に子どもの発達や子育てについて知る機会がありません。そのため学ぶことが必要です。

BPでは、子どもの発達をベースにした「少し先を見通した子育ての知識」を学びます。一方向の知識の提供だけでなく、参加者同士が安心して話し合うなかで、育児の知識やスキル、親の役割などを参加者同士で学び、深めます。

はじめから完璧な親などいません。ひとりで子どもを育ててゆくことはできません。子どもの幸せを願い、親自身が協力しあいながら学び、親として育つ場所が今、求められています。

BPはそのような機会を提供します。



日本でBPが誕生した経緯は？

KKIでは、2003年よりカナダ生まれの親支援プログラムNobody's Perfect（完璧な親なんていない！、略称：NP）に、本格的に取り組んできました。

NPは0歳～就学前の子どもを育てている親を対象とした参加型のすばらしいプログラムです。

NPを実践するなかで、0歳の赤ちゃんを初めて育てている親向けのプログラムの必要性を強く感じ、BPを製作しました。BPは、NPの良いところを取り入れながら、独自の手法をもちいています。



☆ご不明の点は、下記KKI事務局まで、お問い合わせください。

NPO 法人 **こころの子育てインターねっと関西 (KKI)** 略称



〒636-0143
奈良県生駒郡斑鳩町神南 4-6-35
TEL/FAX (0745) 75-0298
http://www.kosodatekki.com/
E-mail npo-kki@nifty.com

©NPO法人こころの子育てインターねっと関西
(2013年8月1日 第三版)

親子の絆づくりプログラム

“赤ちゃんがきた!”

(愛称: BP)

— 思春期から花ひらく0歳時期の育児 —



最初から一人前の親はいません。
赤ちゃんを育てながら
また、まわりのサポートを受けながら
少しずつ親は親になっていくのです。

0歳時期は“親子の絆づくり”にとって
とてもたいせつな時期です。
赤ちゃんの世話をするなかで
自然に「親子の絆」は深まります。

“安全で、愛され、守られている”という
「親子の絆」を感じながら育つなかで
赤ちゃんの心に
“心の安定根”がはぐくまれます。

“心の安定根”は、子どもが思春期をのりこえ
社会の中で自立して生きるための力になります。

0歳時期にはぐくまれる“心の安定根”は
子どもにとって親から与えられる「一生の宝物」です。

**0歳児を初めて育てている母親のための
仲間・きずな・学びのプログラムです。**